



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東 大

上場会社名 福島工業株式会社

コード番号 6420 URL <http://www.fukusima.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福島 裕

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 部長

(氏名) 日野 達雄

TEL 06-6477-2011

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	30,345	16.8	2,175	15.7	2,280	21.1	1,209	24.6
23年3月期第3四半期	25,973	17.8	1,880	72.5	1,883	71.9	970	73.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,399百万円 (55.3%) 23年3月期第3四半期 901百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	114.14	—
23年3月期第3四半期	89.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	35,674	20,715	57.8	1,946.81
23年3月期	33,748	19,559	57.7	1,836.68

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 20,623百万円 23年3月期 19,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	23.00	23.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,300	6.7	2,430	1.5	2,463	2.0	1,311	6.2	123.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	11,033,080 株	23年3月期	11,033,080 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	439,497 株	23年3月期	439,347 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	10,593,665 株	23年3月期3Q	10,891,596 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	2
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）継続企業の前提に関する注記	8
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
（5）追加情報	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による経済活動の停滞から持ち直しつつあるものの、円高の進行、欧州の経済危機、米国の経済減速懸念等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当企業集団を取り巻く環境は、流通産業では、個人消費に持ち直しの兆しが見られ、コンビニやドラッグストアなどの出店が目立つなど、企業の設備投資意欲も強まりましたが、業種、業態を超えた競争はますます激しくなり厳しい経営環境が続きました。また、外食産業では、震災後の消費者の節約志向や内食志向の強まりから、外食を控える傾向が続くなか、身近で手軽なファーストフードは売上、客数ともに回復の兆しが見られたものの、総じて出店意欲は低調なまま推移いたしました。

このような状況の中、当企業集団は、独自の食品安心技術とトータルソリューション力で安全・安心・おいしい・健康な食生活を生活者に提供し、企業理念に掲げる「幸せ創造企業」の実現に向けて取り組んでまいりました。

冷凍冷蔵庫販売では、震災後の消費者の節約志向による外食売上の低迷や先行きの不透明感から飲食店の設備投資が控えられ、冷凍冷蔵庫の売上は一時落ち込みましたが、夏季以降は店舗の改装や新規出店が徐々に増加したことや外食以外の病院・老健施設・給食施設向けの売上拡大が寄与したことから、汎用業務用冷蔵庫の売上高は前年並みとなりました。中でもフルモデルチェンジした横型冷蔵庫は、大幅な省エネが評価され、堅調に伸びました。また、食品工場向けのトンネルフリーザーの売上が好調であったことやファミリーレストラン・コンビニ向けに小型ドッコンディショナーの売上が伸びたこと、病院向けにメディカル機器の売上が伸びたことなどから、冷凍冷蔵庫販売の売上高は堅調に推移いたしました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、節電によるコスト削減効果や復興需要によってコンビニやスーパーの業績が伸びたことから、長年控えられていた改装や新規出店に対する投資が増加し、冷凍冷蔵ショーケースの売上高は堅調に推移いたしました。特に店舗への節電要請に対する関心が高まり、業界トップクラスの省エネショーケースと空調・照明を含めた店舗全体の省エネ制御システムの売上が伸びました。また、今年度より省エネシステムで削減できる電力量をお約束し、削減した電気代で省エネ設備の投資を行なうESCO事業を展開し、新規導入店舗が増加しました。

サービス販売では、節電対策による省エネ需要が高まる中、製品寿命を延ばし、効率的な運転を維持するサービスメニューの提案を引き続き行ってまいりました。また、保守契約店舗での冷凍機入替需要の増加や空調を含めた厨房内の機器のメンテナンスを一括で請け、更なるメンテナンス需要の取り込みを図ったことから、サービス販売の売上高は堅調に推移いたしました。

設備工事では、食品スーパー等へのショーケースの販売増大に伴い、設備工事の売上が増加いたしました。

製造部門では、今年5月に実施した横型冷蔵庫モデルチェンジへの投資により減価償却費が増加したものの、ライン改造による生産性の向上に努めるとともに、利益確保に向けて部品の共通化や原材料の見直しによりコスト低減を行いました。また、製造部門以外でも設備工事での原価低減活動や全社での更なる経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は303億4千5百万円（前年同四半期比16.8%増）、営業利益は21億7千5百万円（前年同四半期比15.7%増）、経常利益は22億8千万円（前年同四半期比21.1%増）、四半期純利益は12億9百万円（前年同四半期比24.6%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は356億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億2千6百万円増加しております。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は240億7千4百万円（前連結会計年度末は231億8千7百万円）となり、8億8千6百万円増加しました。これは主として売上の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加によるものです。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は116億円（前連結会計年度末は105億6千万円）となり、10億4千万円増加しました。これは主として投資その他の資産の「その他」に含まれる長期性預金の増加によるものです。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は134億3千3百万円（前連結会計年度末は123億7千8百万円）となり、10億5千5百万円増加しました。これは主として仕入の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加によるものです。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は15億2千5百万円（前連結会計年度末は18億9百万円）となり、2億8千4百万円減少しました。これは主として社債が1年以内に償還を迎えることにより流動負債の「その他」に計上されたことによります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は207億1千5百万円（前連結会計年度末は195億5千9百万円）となり、11億5千5百万円増加しました。これは主として四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想に関しましては、平成23年10月28日公表の予想数値の修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はございません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はございません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,591,186	11,434,750
受取手形及び売掛金	9,023,317	9,914,126
商品及び製品	829,441	943,097
仕掛品	550,570	430,572
原材料及び貯蔵品	875,179	1,170,259
その他	688,367	542,237
貸倒引当金	△370,379	△360,840
流動資産合計	23,187,683	24,074,203
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,669,543	3,669,543
その他(純額)	3,684,350	3,426,643
有形固定資産合計	7,353,893	7,096,186
無形固定資産	92,347	87,371
投資その他の資産		
その他	3,181,758	4,493,397
貸倒引当金	△67,344	△76,172
投資その他の資産合計	3,114,413	4,417,224
固定資産合計	10,560,654	11,600,782
資産合計	33,748,337	35,674,986
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,521,013	10,000,694
短期借入金	314,794	280,896
未払法人税等	825,947	292,707
賞与引当金	692,355	423,785
製品保証引当金	192,106	199,862
その他	1,832,329	2,235,831
流動負債合計	12,378,546	13,433,778
固定負債		
社債	300,000	—
長期借入金	561,587	449,267
退職給付引当金	624,992	660,251
役員退職慰労引当金	217,429	231,020
資産除去債務	93,998	95,161
その他	11,843	89,787
固定負債合計	1,809,850	1,525,488
負債合計	14,188,397	14,959,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	2,886,073	2,886,073
利益剰余金	14,241,371	15,206,826
自己株式	△350,646	△350,789
株主資本合計	19,536,989	20,502,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,384	380,528
為替換算調整勘定	△225,094	△259,134
その他の包括利益累計額合計	△79,710	121,393
少数株主持分	102,660	92,024
純資産合計	19,559,940	20,715,720
負債純資産合計	33,748,337	35,674,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	25,973,251	30,345,755
売上原価	19,459,609	23,424,759
売上総利益	6,513,641	6,920,995
販売費及び一般管理費	4,633,461	4,745,207
営業利益	1,880,180	2,175,788
営業外収益		
受取利息	6,368	4,528
受取配当金	26,612	29,936
受取家賃	63,052	72,580
その他	59,557	70,170
営業外収益合計	155,590	177,215
営業外費用		
支払利息	19,681	13,232
投資事業組合運用損	4,846	250
為替差損	84,224	44,090
訴訟関連費用	25,500	—
その他	18,225	14,840
営業外費用合計	152,478	72,414
経常利益	1,883,292	2,280,589
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14,543	—
特別利益合計	14,543	—
特別損失		
投資有価証券売却損	12,000	—
投資有価証券評価損	11,764	49,204
貸倒引当金繰入額	—	8,010
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	59,269	—
特別損失合計	83,034	57,214
税金等調整前四半期純利益	1,814,801	2,223,375
法人税、住民税及び事業税	779,970	868,641
法人税等調整額	72,744	153,349
法人税等合計	852,715	1,021,990
少数株主損益調整前四半期純利益	962,085	1,201,384
少数株主損失(△)	△8,242	△7,727
四半期純利益	970,328	1,209,111

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	962,085	1,201,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,765	235,143
為替換算調整勘定	△28,049	△36,949
その他の包括利益合計	△60,815	198,193
四半期包括利益	901,270	1,399,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	913,301	1,410,214
少数株主に係る四半期包括利益	△12,030	△10,636

（3）継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
該当事項はありません。

（5）追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。